

臨床研究「未熟児網膜症に対する抗 VEGF 療法を行った早産児における 3 歳時の身体発育、  
神経予後についての検討」について

筑波大学附属病院小児科では、標題の臨床研究を実施しております。

本研究の概要は以下のとおりです。

① 研究の目的

未熟児網膜症の治療は、レーザーによる網膜光凝固術が標準ですが、近年、抗 VEGF 療法であるベマズマブ硝子体内投与（以下、抗 VEGF 療法）を行う施設が増加し、当院でも 2011 年 7 月から導入しています。未熟児網膜症に対する有効性は報告されていますが、長期的な成長発達への影響はまだ明らかではありません。そこで今回我々は本研究において、レーザー治療を行った方と抗 VEGF 療法を行った方を比較検討し、抗 VEGF 療法を行った早産児の 3 歳時点の体格や神経発達について明らかにすることを目的とします。

② 研究対象者

2008 年 4 月 1 日から 2015 年 3 月までに当院で未熟児網膜症に対し入院中治療を受けた患者さん

③ 研究期間：倫理審査委員会承認後～2019 年 3 月 31 日まで

④ 研究の方法

診療記録を用いて、過去の情報を収集、整理し、データ解析を行います。

⑤ 試料・情報の項目

患者背景（在胎週数、出生体重、Apgar score、合併症）、未熟児網膜症治療方法及び時期、眼底検査所見、3 歳時点の体格、新版 K 式発達検査の結果等を用います。個人情報保護のため、患者さんの情報は、個人を特定できないよう匿名化します。

⑥ 試料・情報の第三者への提供について

提供の予定はありません。

⑦ 試料・情報の管理について責任を有する者

筑波大学附属病院 小児科 永藤 元道

⑧ 本研究への参加を希望されない場合

患者さんやご家族が本研究への参加を希望されず、情報の利用又は提供の停止を希望される場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。すでに研究結果が公表されている場合など、ご希望に添えない場合もございます。

⑨ 問い合わせ連絡先

筑波大学附属病院：〒305-8576 茨城県つくば市天久保 2-1-1

所属・担当者名：小児科 担当 永藤 元道（平日 9 時～17 時）

電話番号：029-853-3785（成育支援室）